



No.10 令和4年1月24日(月) 2022-2号 (隔週発行)

発行責任者: 松江総合医療専門学校理事長 澤田勝寛

isonare@ka2.so-net.ne.jp 毎月第2、4月曜発行 令和3年(2021年)9月13日創刊

◆さしあたる事のみぞ、ただ思え

さしあたる事のみぞただ思え
過去は及ばず
未来知られず

私のメンター中村天風の言葉です。天風さんは大正から昭和初期かけて活躍した哲人で、政財界に多くの教えを残しています。この言葉の意味は、過去はいくら振り返って悔やんでみてもどうしようもない、またどうなるかわからない未来のことをよくよく考えてみても仕方がない、それよりもさしあたる当面の問題に向きあって解決していく事が大切ということを説いているのです。

国試前の三年生は特にこの言葉の意味を考え、さしあたる国試勉強に全力投入することが大切です。あと残りわずか、最後まで粘りましょう。

◆コロナ関係

オミクロン株感染は、日本でも爆発的に増加し、一日の感染者数が5万人に達し、累計で200万人を越え、国民の60人に1人の感染率となりました。

特徴は、潜伏期が3日と短く、発症の2日前から感染力が高くなり、重症化しにくいということです。濃厚接触の定義はマスクなし会話15分以上とされており、いかにマスクが大切かがわかります。重症化しにくいといってもこのスピードで感染が広まり、それにつれて濃厚接触者も増えています。以前は濃厚接触者の待機日数が14日とされていたのが10日と短縮されました。

若い人の感染者が多いことも特徴で、学校や幼稚園の休校、休園が増えています。

鼻を含めた上気道にウイルスが付着して発症します。鼻を出したマスクでは、防御効果は薄れますので注意が必要です。



◆喜ばれることをしていると人生が開ける

人から物事を頼まれやすい明るい顔をしていると、人生はそこから開けてきます。自分で自分を磨く必要はありません。磨く暇があれば頼まれやすい人になる方がいいのです。

うれしい、楽しい、幸せ、愛している、大好き、ありがとう、ついている、という言葉や常に関わりから出てくるようにしていると、人相が変わり頼まれやすい顔になります。

幸せになる条件は、宇宙を敵にまわさないこと、宇宙を味方につけること、神を見方につけることの三つです。

神はきれいな人、心のきれいな人、身の回りが整理整頓された人が好きだそうです。断捨離をすると何となくいい感じが起きます。

何事に対しても、いつも念をいれることも大切です。念とは今の心と書きます。今、心を込めて一生懸命することです。

幸せとはなるものでも、つかむものでもなく、ただ感じるものです。チルチルミチルも「青い鳥」を自分の家に見つけたのです。辛い、悲しい、つまらない、いやだ、嫌いだ、疲れたといった、不平・不満・グチ泣き言・悪口・文句といったと頼まれごとをされにくい顔になります。

嬉しい、ありがとう、楽しい、幸せ、大好き、ついている、という喜びの言葉をずっと言っていると、ありがとうと言ったときの笑顔が板についてきます。そうすると神や宇宙から支援を得られます。

どうしたら人に喜んでもらえるかを考えると、よく気がつく人になります。掃除道の鍵山秀三郎が繰り返して言われています。

小林正観さんの「喜ばれる」を参考にして、まとめてみました。宇宙か神かは分かりませんが、私は something great が存在するような気がしています。



Handshake and communication